

# 好評な「GENEー BASEシリーズ」を基に コンプレッサ内蔵・外付け両タイプで 屋外型のラインアップを追加!



GENE-BASEシリーズ  
(窒素ガス発生装置) 屋外設置

コフロック株(本社)京都府京田辺市草内当ノ木1-3、☎0774-6214411は、2018年に屋外設置型コンプレッサ内蔵ガス発生装置「GENEーBASEシリーズ」を発売して以来、好調な出荷を続けており、他のシリーズでも屋外仕様のラインアップを増強している。

国内の製造現場では、限られたスペースに工作機械や周辺機器が所狭しと設置されている工場が多く、ガス発生装置やコンプレッサ等を屋内に設置するにはレイアウト的に困難なケースが見られ、屋外設置型ガス発生装置の開発が求められていた。

「GENEーBASEシリーズ」は、塩害などの比較的厳しい条件の周囲環境にも強い給油式インバータスクリーンコンプレッサを組み合わせるとともに、装置内部を機能ごとに分ける「ボックス構造」の採用により、機器間の熱干渉の低減に成功。最適な冷却効果が得られる吸・換気設計で装置内を効率的に喚気し、猛暑日の45℃の屋外環境下でも連続運転を可能としている。

「ボックス構造」で62dB以下の低騒音運転を実現するとともに、コンプレッサから排出されるドレン水の油分を分離する油水分離機能もパッケージ内に標準装備した。装置内への雨水の侵入を防ぐ防滴規格IPX3相当の専用ボンネットを採用した他、第二種圧力容器・高圧ガス保安法の法規



前回の「FOOMA JAPAN」に出展した「N2 IMPACT IIシリーズ」の実機展示

「N2 IMPACT IIシリーズ」は、屋外仕様の追加に加え、オイルフリーコンプレッサ内蔵窒素ガス発生装置「N2 IMPACT T IIシリーズ」に外付けタイプを追加した。

「NE IIシリーズ」は、窒素ガス発生装置「NE IIシリーズ」に屋外型を追加した。これによりコンプレッサ外付けタイプは、窒素ガス純度99.99%対応で、標準装備する「品質」「衛生」面を重視しオイルフリーコンプレッサを求め、食品業界(包装)では本シリーズの採用が進んでいる。



コンプレッサ外付けタイプの大型窒素ガス発生装置「NE IIシリーズ」の屋外設置(右側が装置)

「NE IIシリーズ」などコンプレッサ外付けタイプに屋外型を追加! 総合展「FOOMA JAPAN 2025」に、屋外型「N2 IMPACT II」のデモ機(3.7kW機対象写真参照)を展示し、多くの来場者の注目を集め受注に繋がったとして、今年も同展にも「N2 IMPACT T II屋外型」の展示を予定している。

「高精度なガス流量制御・管理に! 「マスフローコントローラ」を提案!」

一方、同社では、半導体や光ファイバー、分析、燃料電池、液晶、有機EL、バイオ、食品分野等のプロセスにおけるガス流量制御・管理に欠かせない「マスフローコントローラ」を製造している。

中でも、溶接において使用するガスの流量制御は非常に重要であり、ガス流量が多すぎても少なすぎてもブローホール等の欠陥の要因になりやすい。

「資料請求番号S-1」

## ガスは屋外へ、現場をもっと広げる

屋外型ガス発生装置 窒素 酸素 CDA KOFLOC Kyoto

# GENE-BASE series

- 屋内・外設置対応
- 45℃の屋外環境下で連続運転が可能
- 低騒音運転を実現
- ガス+圧縮空気同時供給対応
- 給油式スクリーンコンプレッサ内蔵

	窒素(99.99%)*1				酸素(90%)		CDA*2	
出力(kW)	7.5	11	15	22	7.5	22	7.5	22
発生量(Nm <sup>3</sup> /h)	11	18	26	40	6	18	35	100

\*1 窒素純度95~99.999%選択可。純度によってガス発生量は異なります。 \*2 CDA=クリーン・ドライ・エア

**コフロック株式会社** <https://www.kofloc.co.jp>

■本社・京田辺工場 〒610-0311 京都府京田辺市草内当ノ木1-3 TEL: 0774-62-4411  
■八幡オフィス・工場 〒614-8184 京都府八幡市上津屋八丁25 TEL: 075-983-3500